



朝食は熱中症予防に効果抜群！

今年の夏も、猛暑が続きます。こども園では夏ならではの水遊び、プール遊びを楽しんでいますが、今年度より「暑さ指数」3以上の「嚴重警戒」の場合は、水遊び、プール遊びも中止して熱中症対策をとっています。水分補給もこまめに行うようにしていますが、一番の熱中症対策は「朝食を食べる」事だそうです。熱中症対策に「塩分」が取り上げられますが、実際には塩分だけでなく「糖分」も必要となり、それを補えるのが食事ということです。暑い時期、なかなか食の進まない子もいると思いますが、朝食を毎朝食べて暑い夏を乗り切りましょう！

園長 長谷部 弥生

心に残る体験を ~年長児お楽しみ会より~

7月19日に3園の年長児15名が本園に集まって「お楽しみ会」を実施しました。今年度も「鮎」のつかみ取りをした後、塩焼きにして夕食でおいしくいただきました。「つかみ取りの体験」「命をいただく体験」など貴重な体験ができたと思っています。

幼児期の実体験は、大人になってもふとした時によみがえる、心の土台につながる体験になります。それが、「非認知能力」にもつながっていき、一生涯の活力になっていくと考えます。

園、家庭で、「見る」「触る」「自分でやってみる」など様々な実体験を積み重ね、大人になった時にちょっとしたことでへこたれない心の土台を作っていきます。

*鮎体験は地域の方をはじめたくさんの方のご協力により、実施できています。ありがとうございます。

共育(ともいく)
コーナー



コミュニケーション の

最初のステップは？ の巻

「スマホを見ながら、子どもに返事をしていませんか？」… ドキッとしますよね。

コミュニケーションがうまい人とは…。一般的に『話す』ことが上手い人、と思われませんか？。でも実は、『聞く』ことでもなく、『見る』ことだそうです。相手を見て、『観察する』ことが、すべての基本となる…。『見る』ということ、最先端の心理学では、**観察** と言っています。

『見る』は、相手との関係性をつくる立派なコミュニケーションスキルなのです。

人は 『見る人』『見てくれる人』 を 好きになる

『見る』『見られる』という働きかけをたくさんもらった子どもたちは、愛着形成がしっかりとできるだけでなく、そのほかの人たちに対しても安心感を持ち、人間関係をつくるのが自然にできてきます。

相手に分かるように…というのがポイントのようですので、相手に身体と顔をきちんと向けて、今していることの手をちょっと止めて、今日から一緒に取り組んでいきましょう。